

日野市立教育センター一報

教育センターだより

第18号 平成21年 6月30日発行



平成21年6月9日（火）
避難訓練

日野市立教育センター

〒191-0042

日野市程久保550

TEL 042-592-0505

FAX 042-592-1148

開館時間 午前8時30分
～午後5時15分

目 次

巻頭言

学校教育基本構想に基づく日野市の新たな教育課題に挑戦

日野市立教育センター

所長 篠原 昭雄 p - 1

1 不登校児童・生徒の学習支援の仕組みに関する研究

e-ラーニング研究委員会 p - 2

2 ICT を活用した実践的な研究

ICT 活用研究委員会 p - 3

3 理科教育推進の研究

理科教育推進研究委員会 p - 4

4 ひのっ子教育 2 1 開発委員会の研究

ひのっ子教育 2 1 開発委員会 p - 4

5 郷土教育推進に関する研究

郷土教育推進研究委員会 p - 5

6 教職員研修

教職員研修係 p - 5

7 一般教育相談

一般教育相談係 p - 6

8 わかば教室の活動

学校生活相談係 p - 7

教育センター組織図・図書・資料等利用案内



学校教育基本構想に基づく

日野市の新たな教育課題に挑戦

日野市立教育センター 所長 篠原 昭雄

開設されて6年目に入り、教育センターはこれまで三つの部を中心にして日野市の様々な教育課題や市民のニーズに応えるため挑戦してきました。その評価と期待はますます高まっているように思います。またその状況や成果は、この『教育センターだより』や年度末発行の『教育センター紀要』『相談部研究紀要』『「郷土日野」指導事例』などに掲載しています。

今年度の日野市の学校教育には、新学習指導要領への対応や、本年2月に策定された『教育のまち ～日野市学校教育基本構想～』に基づく新たな教育課題への挑戦が求められています。これらの教育課題に対して教育センターとしてどんな役割を果たすことができるか。

教育センターの事業はこのような観点に立って設けられたもので、基本構想の目標を達成するための多くの項目や主要施策に関する事業に取り組んでいます。その事業内容と部・係などの担当については今年度初めの『教育センター要覧』にまとめて学校や関係者にお届けしてありますが、この“たより”では、これらの事業の活動の様子をお知らせします。

調査研究部は、基本構想の「教育センターの先進的な調査・研究の充実を図る」という基本方針を受け、シンクタンクとしての役割を果たすための活動を進めています。

基礎調査研究係では、重要な課題の一つである不登校児童・生徒の学習支援のためのICTを生かした仕組み（e-Learningシステム）に関する研究を行っています。**教育経営係**では、ICTを活用した教科などの授業に役立つ研究を行い学校教育への情報提供を図るとともに、その環境整備のあり方について研究・検討を進めています。

ふるさと教育係では、これまで4か年の郷土日野教育の研究を更に発展させ、その成果の普及を図っています。**教科等教育係**では、ICT活用や理科支援員の協力も得ながら理科教育の充実・向上を目指し、『ひのっ子教育21開発研究』と連携して進めています。また、**教育資料・広報係**もそれらの整理と普及を電子化も含めて推進しています。

研修部では、若手教員の大幅な増加や教職員の資質向上が求められている状況から、学校課指導担当との連携を密にし、研修の充実を図っています。

相談部では、**一般教育相談係**「教育相談室」と**学校生活相談係**「適応指導（わかば）教室」が、利用者やニーズの増加とこの問題の多様化・複雑化に応じるため、特別支援教育との関連にも配慮しながら教育相談機能相互の連携を深め、“わかば教室”ではICT活用（e-Learning）を活かしながら、相談活動の充実を図っています。

以上のような事業に教育センターの機能と力をフルに発揮して所員一同使命感と情熱を持って取り組んでいます。今年度も教育センターの活動に関心を持ってご支援いただくと同時に、活動の成果を活用していただきますようお願いいたします。

I 調査研究事業年間活動の概要

調査研究部では、日野市の当面する教育課題である「不登校児童・生徒の学習支援の仕組みに関する研究」「ICTを活用した実践的な研究」「理科教育推進研究」「ひのっ子教育21開発委員会の研究」「郷土教育推進に関する研究」の五つの研究を関係諸機関のご協力の下で進めています。以下、それらの研究のあらましをお知らせいたします。

1. 不登校児童・生徒の学習支援の仕組みに関する研究

－ e-ラーニング研究委員会 － 基礎調査研究係

① この研究委員会が目指すのは、**学習支援⇒登校支援**です。

日野市教育委員会では、不登校児童・生徒に e-ラーニングを取り入れ、個に応じた支援の実施に向け「ひのっ子学習システム」を整備してきました。それは、試行から在宅学習に活用できる段階に至っています。それに沿って、不登校の児童・生徒に学ぶ機会を保障するため e-ラーニングを活用した学習支援の仕組みに関する研究を行い、e-ラーニングの効果的な運用を図ります。

② この研究の内容及び方法は、次の二つです。

(ア) 不登校児童・生徒の在宅での学習形態としての e-ラーニングを取り入れ、個に応じた学習支援を行うために、

- ◆ e-ラーニング利用に関する要綱の作成
 - ◆ 教育センターe-ラーニング担当者の学校や家庭へのサポートの在り方
 - ◆ e-ラーニング推進上の課題
- 等について研究します。

(イ) “わかば教室”の児童・生徒へも同システムを活用して個別学習を行います。

教育センター3F“わかば教室”に
開設した「e-ラーニング学習室」⇒



③ 研究の組織と運営

学識経験者、小学校長代表、中学校長代表
ICT活用教育推進室長、指導主事、
教育センター事務長、教育センター所員 等で
研究委員会を構成・組織して研究を行います。

委員長：日野第四中学校 校長 千葉 正 先生
副委員長：日野第七小学校 校長 島崎 忠志 先生



第1回委員会(教育センターにて)

2. ICT を活用した実践的な研究

－ICT 活用研究委員会－

教育経営係

1. 研究委員会の目的は・・・？

- (1) ICTを活用した授業実践のあり方を研究します。「ICT活用教育 日本一の日野」には、ICTを活用した素晴らしい授業実践がたくさんあります。よい授業を発掘し、広めて行きます。
- (2) 授業はもちろん、すべての学校教育を充実させるために、ICT環境の充実・整備を進める必要があります。授業活用部門、校務活用部門、セキュリティ部門などの環境設定の充実をめざして研究を進めます。

2. 研究の内容

- ①、次期の更新時のICT環境の整備について検討します。早い時期にPCを設置した学校が、更新時期をむかえます。次世代の流れに対応できる見通しをもって検討していきます。
- ②、『日野市ICTマーク』の全校取得をめざして協力します。
「セキュリティ部門」・・・セキュリティカードの保管方法、私物の記録媒体が一切存在しないことなど10項目
「授業活用部門」・・・教員・児童がデジタル教科書、書画カメラ・デジカメの活用など5項目
「校務活用部門」・・・校務支援システムの週案時数管理機能、成績管理システムの活用など5項目

すぐれた実践の蓄積

各教科での『ICT活用実践事例集（Webサイト）』を作成します。

- ◇全教科の活用実践例を掲載します。
- ◇1事例1ページ 動画などを使い見やすいものにします。
- ◇小学校 ステップ1～3の段階ごとに掲載します。
中学校 各教科で、日野市のお勧め活用方法を1～2つ掲載します。

3. 研究委員会メンバー

学識経験者	東原 義訓先生	(信州 大学 教授)
委員長	五十嵐俊子先生	(平山小学校 校長)
副委員長	秋山 譲児先生	(平山中学校 校長)

他に、小・中副校長会代表、情報システム課、教育委員会庶務課、学校課、ICT活用推進室、教育センターの各委員

3. 理科教育推進研究

— 理科教育推進研究委員会 —

教科等教育係

1. 主 旨：

ひのっ子の基礎学力向上を目指し、魅力ある理科授業が展開出来るようにする「誰でも好きになる魅力ある理科授業」を構築するため教育センターの支援のあり方を検討し、支援を推進します。

2. 目 的

(1) 魅力ある理科授業を展開する教育センターの役割・支援のあり方を明確にします。

教育センターに設けられた理科支援センターの授業改善の役割を明確にし、授業支援体制の確立に努めます。特に文科省理科授業支援員の確保と各校の支援体制、支援への条件整備 教材研究 教材供給 支援員の確保 地域の支援体制の充実を図ります。併せて諸組織等との連携を通して推進していきます。(理科研究校、地元の組織等との連携：緑と清流課、W I N G 等)

(2) 上記目的を達成するため、教育センターの理科支援センター（コーディネーター）として、理科教育の環境整備のあり方を実践及び調査を通して研究を行います。

教育センター理科室の経営のあり方を策定し、市の自然を生かした地域の教材化、併せて「ひのっ子教育 21 開発委員会等との連携」を図ります。

3. 組 織・運 営

委員長（1 名）長年理科教育に携わってきた小学校校長を委員長、中学校校長を副委員長

委員：理科の研究校校長、ひのっ子教育 21 開発委員会担当校長、副校長及び主幹で構成します。（ひのっ子教育 21 開発委員会と連携して進めます）

日野市教育委員会に、ひのっ子教 21 開発委員会（以下開発委員会）を置き、日野市における学校教育の振興を図る。（ひのっ子教育 21 開発委員会 研究事業実施要項 第 1 条）

開発委員は、日野市教育委員会の教育目標の達成を目指し幼児教育、教科・領域等の教育内容、教育方法、教材開発の実践的研究を行う。（同 研究事業実施要項 第 2 条）

この実施要項に基づき今年度は次の研究を行います。

4. ひのっ子教育21開発委員会の研究

—ひのっ子教育21開発委員会—

1. 主 旨：魅力ある理科授業の展開とひのっ子の基礎学力の向上

科学技術振興機構の観察・実験融合型デジタル教材の活用かを通して、誰でも好きになる魅力ある理科授業のあり方を構築し、理科教育の質的向上を図ると共に、ひのっ子の基礎学力向上を図ります。

2. 目 的

(1) 従来の実験・観察指導に加えてデジタル教材を活用することで、より魅力ある理科授業を展開できるよう、理科を教える教師の指導力を向上に努めます。

(2) これらの授業の展開を進め、最終的には科学に興味を持ち、科学的な目で考えることが出来る児童・生徒の育成を図ります。

3. 研究体制

(1) 委員長（2 名）理科教育の実践研究者の管理職。それぞれ小学校部会長 1 名、中学校部会長 1 名とする。（副校長は、それぞれの副部会長とする）

(2) 委 員（各学校から 1 名以上）

小学校：各教科の指導に当たって、効果的な指導方法を工夫してきた実績があり、デジタル教材を用いて、様々な指導方法を考案できる教諭または主幹。

中学校：日常の学習指導で理科の指導を行っており、デジタル教材を用いて指導法のアイディアを出せる教諭または主幹。

(3) 研究員会事務局担当は、学校課（指導主事）と教育センター所員で構成し、研究の指導とともに委員会全体の進行調整及び庶務全般等を行います。

5. 郷土教育推進に関する研究

ー 地域教育推進委員会 ー

ふるさと教育係

3月末に「郷土日野」指導事例集 第4集を配布いたしました。ご覧いただけましたでしょうか。ふるさとクイズや、画像検索、事例集のPDF化を図るなど、工夫をしております。本年度も引き続き、より使いやすく、より充実した内容に心がけてまいります。

1. 主旨

「郷土の日野」を愛し、誇りを持つ「ひのっ子」を育成するために郷土教育の在り方を研究する。

目指す児童像・生徒像

自然・歴史・文化を理解する児童

郷土の特色やよさを発信する児童

郷土の一員の自覚と誇りをもち、人々と協力する児童・生徒

郷土の未来を思い描き実践する児童・生徒

2. 内容及び方法

郷土教育が期待する子ども像の育成を目指した授業実践例を作成する。

授業に使える郷土教材の収集、開発を行う。

学校が実践化しやすい郷土教育に関する指導計画例を提示する。

指導事例集を電子データ化する。

3. 組織・運営

委員長 (日野第一小学校長 小杉博司)

副委員長 (平山小学校主幹 鎌田博志) (仲田小学校主幹 秋田克己)

学校関係者 小学校教諭 郷土資料館 図書館 学識経験者 指導主事
センター所員

Ⅱ 研修部

ー教職員研修係ー

教職員の研修

本年度教育委員会が主催する教職員研修会の補助をします。おもに、申し込み受付・当日受付業務・会場案内・音響設備設置等です。

研修会の種類は、職層に応じた研修Ⅰ、現職経験に応じた研修Ⅱ、今日的な教育課題解決のための教育課題研修(研修Ⅲ)です。これについては夏季課題別研修会を含んでいます。

夏季休業中に市民会館においての専門研修全体会は、学識経験者による講演を中心とした研修が行われる予定です。この受付業務も行います。

さらに昨年同様に初任者指導においては3名の研修係の所員が50名の初任者の授業観察とその助言に当たる予定です。4年次教職員の授業観察も今年度は行う予定です。研修内容は下記の通りです。

(研修内容)

ア	職層に応じた研修 (研修Ⅰ)	・学校組織マネジメントⅠ(校長) (2回)
		・学校組織マネジメントⅡ(副校長) (2回)
		・学校組織マネジメントⅢ(主幹) (4回)
イ	現職経験に応じた研修(研修Ⅱ)	・指定研修(初任者研修) (15回)
		・4年次教職員研修
		・2・3年次教職員研修 (夏季)
ウ	教育課題研修 (研修Ⅲ)	・心の教育・人権教育・小学校英語活動・郷土教育
		・幼児教育研修・専門研修全体会
エ	夏季ICT活用研修	・日程はのべ13日間。

Ⅲ 一般教育相談

一般教育相談係

平成16年度から、日野市立教育センター内に相談部として、一般教育相談係と適応指導「わかば教室」を行う学校生活相談係が設けられて、相談事業を行っています。

1 一般教育相談

◇ 目的・内容

日野市に在住する幼児・児童・生徒及びその保護者を対象に、子どもの不登校やいじめなどの課題の解決を援助するために、来所による相談や電話相談等で教育相談に応じます。また、日野市教育委員会の相談関係の施策への援助を積極的に行います。さらに、日野市の幼稚園・保育園・小学校・中学校と連携を図り、教育相談の浸透普及に努め、次の事業を行います。

(1) 教育相談の実施

- ・ 知能・学業・性格・身体・性癖・進路・適性等に関する相談活動
- ・ 幼児・児童・生徒の生活指導についての指導・助言
- ・ 市内公立幼稚園、小学校、中学校等における学校教育相談との連携
- ・ 心身に障害のある幼児・児童・生徒の就学（園）相談への協力

(2) 教育相談の外部機関、諸団体との連絡・情報交換

(3) 研究・研修などの教育相談活動の充実に関すること

(4) 適応指導教室との連携

◇ 相談方法

(1) 来所相談

事前に電話で予約いただき、指定させていただいた日、面談や諸検査等を通して、箱庭療法・コラージュ・プレイセラピー等を用いて相談を行います。

(2) 電話相談

相談内容としては、性格、行動、進路、余暇、しつけ、性の問題等を扱います。

(3) 子どもこころの電話相談

(いじめ電話相談)

幼児、児童、生徒、保護者、学校関係者の電話相談に応じます。

教育相談は、毎週月曜日から金曜日

・ 午前10時～午後5時

・ 電話 042-592-1160

※「子どもこころの電話相談」専用電話

042-592-2782

(土曜日・日曜日・祝日・年末年始の休業日を除きます。)

◇今年度の一般教育相談は、次のことを重点とします。

(1) スクールカウンセラーとの連携

小学校に相談員が全校に配置されたことで、ますます学校との連携が重要になります。その連携の方法を探りながら推進していきます。

(2) 他機関との連携

市内や都内、また他の市の機関との連携もさらに推進していきます。

2 学校生活相談

一学校生活相談係・わかば教室一

学校生活相談係は、学校生活における精神的な悩み、人間関係での不満、不登校・登校渋り等、児童・生徒の環境をめぐる問題に関しての相談や支援、健全育成に関する調査並びに資料提供や助言を行っています。具体的な活動は次の通りです。

(1) 相談活動

学校生活上の問題や不登校に関する相談、適応指導教室「わかば教室」に入室している児童・生徒への計画的継続的な個別面談、ひきこもり傾向の児童・生徒への働きかけ

(2) 「わかば教室」通室児童・生徒への指導・支援

「安心して過ごせる学びの場」づくり、学校復帰・社会的自立への援助

(3) 健全育成に関する調査・助言

長期欠席児童・生徒の月別集計・考察、学校訪問、不登校児童・生徒の早期発見と初期対応・予防

(4) 学校・家庭・地域との連携

適応指導教室連絡会、活動状況報告の送付、保護者面談・保護者会・授業参観、通信、地域ネットワーク連絡会、スクールカウンセラー連絡会、地域を生かした体験活動

教育センター所員3名、カウンセラー1名、指導員4名、昨年度と同じ8名のスタッフですが、気持ちを新たに業務に当たっています。「わかば教室」の毎日の学習・生活全般にわたって、学生ボランティアの協力があります。教育センター3階が学校生活相談係のフロアです。

適応指導教室「わかば教室」(連絡先 ☎ 042-592-0863 FAX 042-592-1148)

「わかば教室」では、不登校や登校をしぶる児童・生徒の支援をします。具体的には、「わかば教室」に通う子どもたちが「安心して過ごせる学びの場づくり」に努めながら、好ましい人間関係、集団への適応能力、体力、学習への意欲、基礎学力、社会性や自立心の育成を目指し、個々の状況に応じて、個別あるいは少人数による指導・支援・相談をしています。

※入室を希望される方、内容を知りたい方はお気軽にご相談ください。



地域観察学習・多摩動物公園

◇「わかば教室」の一日

朝の会で始まり、学習タイム(国・社・算/数・理・英を中心に個に応じた学習指導)、わかばタイム(曜日毎に、スポーツ・栽培・音楽・図工・作文を実施)、ミーティング、個別面接(計画的・継続的なカウンセリング)の時程を組んで実施し、帰りの会で終わります。水曜日の午後はスタッフ全員の話し合い時間を設け、子ども一人ひとりの状況に応じた個別計画で指導・支援に当たっています。ふれあいを大切に、特に昼休みは、毎日元気にスポーツを楽しんでいます。

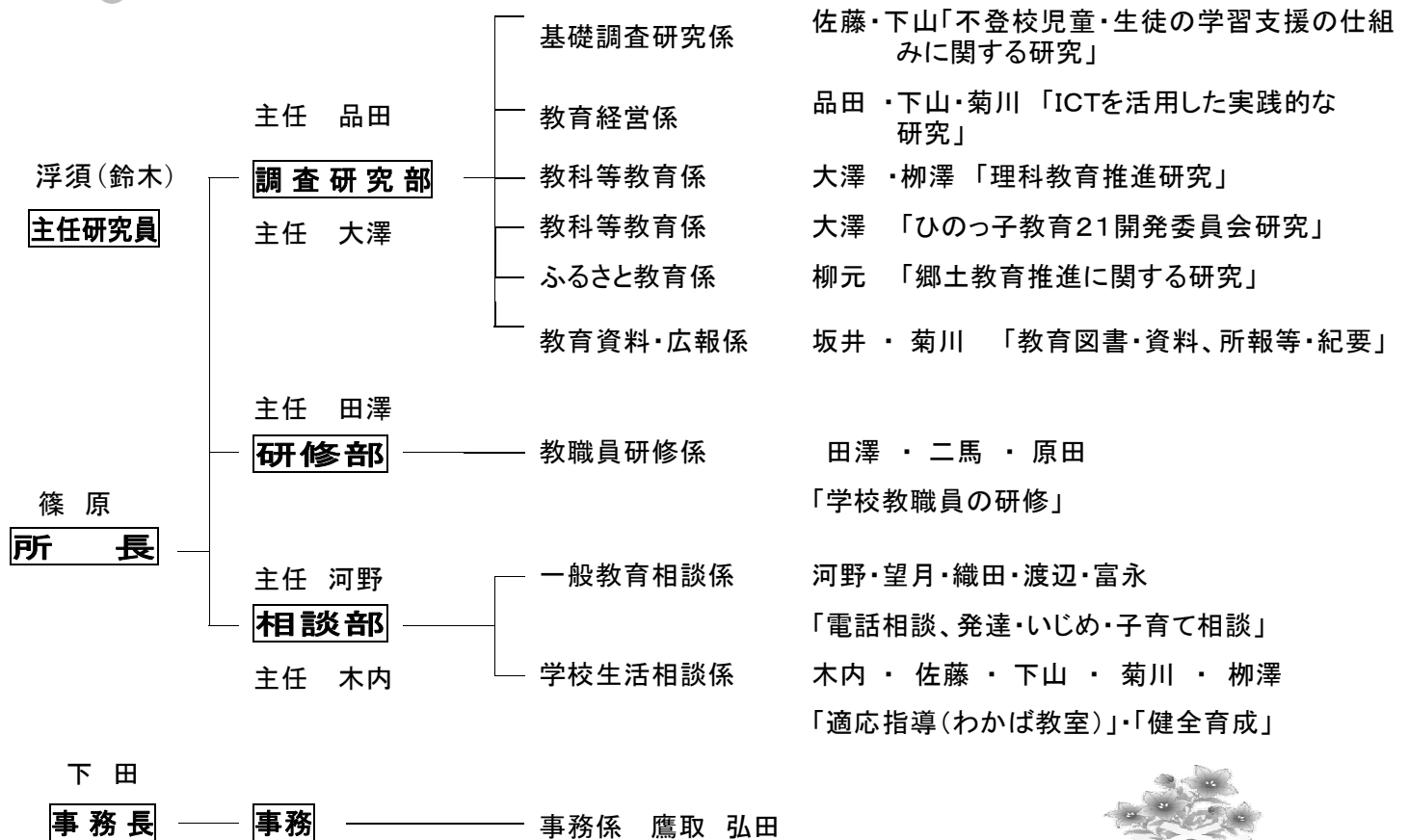
◇「わかば教室」の行事

遠足、酪農体験、誕生日会、スポーツ大会、音楽会、お茶会、老人ホーム訪問、地域の奉仕活動、夏休み学習会、新年を祝う会、卒業・進級を祝う会等

感動体験の重視、自らのよさや存在の大切さへの気づきの学習、定期的に行うカウンセリングで情緒を安定させ、子どもたちに自信を取り戻させていきます。

平成21年度

教育センター組織・係図



教育用：図書・VTR・DVD・資料等をご覧になりませんか？

* いつ 月曜 ～ 金曜 9：00～17：00

* 手続きは 教育センター2階事務室

* 教育センターの活動の様子や成果を収録している『教育センター
紀要』が教育センターのホームページで公開されています。ご活用
ください。

蔵書の有無は、市内各小・中学校図書室からパソコンで検索できます。